

IT導入の成果を待遇にも反映し、職員のモチベーションを向上

大阪市内で機能訓練特化型通所介護サービスを運営する株式会社ライフケアは、医療職を含めた様々な職種かつ勤務時間帯の異なる職員が働く職場であることから、スタッフ間のコミュニケーションを含めた日々の業務効率化の手法を模索していた。そのようなときに、介護業務管理ソフトを提供するIT企業の広告を見て、ソフトとタブレットを導入し、ITを活用した業務効率化に取り組み始めた。

ITに慣れることを社内の最優先事項として位置づけ、さらに、IT導入の成果を待遇に反映させるなどの工夫により、年間400時間の残業削減を達成。スタッフのライフ・ワーク・バランスが向上したことで利用者に優しく接するようになり、施設利用者の離所が無くなるとともに、スタッフの離職もほとんどなくなった。

導入したITツール

- 「ビジネスコミュニケーションチャット」：社員間のコミュニケーションの円滑化
- 「介護業務管理ソフト」：タブレットを活用した介護記録や帳票の手書き業務・介護報酬請求業務の効率化
- 「シフト・スケジュール管理ソフト」：表計算ソフト

IT導入のここがポイント！

▶▶ IT導入を社内の最優先事項として取り組む

IT導入のためなら残業が増えてもよいから、タブレットや介護ソフトに触れることを社内の最優先事項と位置づけ、職員全員に一斉導入した。

社長の方針は一貫して、IT化の優先順位を明確化したことで、60代のスタッフも1ヶ月で使いこなせるようになった。

▶▶ IT導入による成果をスタッフの待遇に反映

IT導入で業務が効率化（残業の減少）したことにより、人件費が一定比率を下回った場合に、下回った金額を全てスタッフに給与として支給。

IT導入の成果を、待遇面への反映としてスタッフに見える化することで、ITを使い続ける動機付けにもなっている。

▶▶ コミュニケーション量の増加により、離職者も減少

介護の現場では、勤務時間帯が異なるスタッフが全員集まって情報共有することは難しい。コミュニケーションチャットにより、スタッフ全員が同じ情報を時系列で随時共有でき、言った言わないのトラブルも解消した。また、職場のコミュニケーション量の増加により、スタッフの悩みに気づかず離職してしまうということも無くなった。



業務の優先順位を決め、IT研修にも積極的に取り組む



翌日の業務の準備にもITを活用



IT導入で職場のコミュニケーション量が増加

IT導入の効果

- 年間400時間（2017年6月時点）の業務時間削減を達成
- 無期雇用のスタッフの離職者がゼロに。
- スタッフ間の連絡ミスが無くなり、利用者の離所がなくなった。
- チャットの利用により、社長が行う電話連絡が10分の1に減少。

【企業概要】

・企業名：株式会社ライフケア
・住所：大阪府大阪市中央区谷町3-5-5 ai-doビル13階

・電話番号：06-6944-1506
・URL：<https://www.ichiro-life-care.jp>